

第一期決算公告

東京都新宿区新宿4丁目1-6 JR新宿ミライナタワー

VicOne株式会社

代表取締役／CEO Max Cheng

貸借対照表（2023年12月31日現在）

（単位：千円）

	金額	科目	金額
〈資産の部〉		〈負債の部〉	
流動資産	1,352,975	流動負債	679,545
現金及び預金	1,272,664	買掛金	672,566
売掛金	64,940	未払法人税等	6,774
未収入金	15,371	預り金	203
固定資産	834,533	負債合計	679,545
無形固定資産	741,113	〈純資産の部〉	
ソフトウェア	741,113	株主資本	1,507,964
投資その他の資産	93,420	資本金	1,200,000
関係会社株式	91,491	資本剰余金	1,200,000
繰延税金資産	1,929	資本準備金	1,200,000
		利益剰余金	△892,035
		その他利益剰余金	△892,035
		繰越利益剰余金	△892,035
		純資産合計	1,507,964
資産合計	2,187,509	負債・純資産合計	2,187,509

損益計算書（自 2023年6月2日 至 2023年12月31日）

（単位：千円）

科 目	金	額
売上高		
ロイヤリティー収入	59,036	59,036
売上原価		36,683
売上総利益		22,353
販売費及び一般管理費		906,182
営業損失		△883,828
営業外収益		
その他	0	0
営業外費用		
為替差損	9,660	9,660
経常損失		△893,489
税引前当期純損失		△893,489
法人税、住民税及び事業税	474	
法人税等調整額	△1,929	△1,454
当期純損失		△892,035

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式…移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産

自社利用のソフトウェア

社内における見込利用可能期間（主に5年）に基づく定額法

3. 収益の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

ソフトウェアライセンスにおける収益は、主にセキュリティ関連のソフトウェアライセンスの提供によるものであり、顧客とのライセンス契約に基づいてソフトウェアライセンスを提供する義務を負っております。

サポートサービスにおける収益は、主にセキュリティ関連製品のサポートサービスの提供によるものであり、顧客とのサポートサービス契約に基づいて当該サービスを提供する義務を負っております。

当社から顧客に提供される財又はサービスの本質は、最新のコンピュータウイルスからの保護を顧客に提供することであり、顧客へのソフトウェアライセンスの提供、サポートサービスに含まれるソフトウェアのアップグレード等の提供は、それぞれ単独では、最新のコンピュータウイルスからの保護を顧客に提供できず、相互依存性・関連性が高いため、一体不可分の単一の履行義務となっております。

コンピュータウイルスからの顧客の保護は、顧客がソフトウェアライセンスの利用を開始してから契約期間に応じて提供されるため、一定の期間にわたり充足される履行義務であり、その対価については、利用開始時点から契約期間にわたり均等に期間配分し、当事業年度に対応する額を収益計上しております。

また、これらの履行義務に対する対価は、契約における重要な金融要素は含んでおりません。

4. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。